



一般社団法人 電波産業会
Association of Radio
Industries and Businesses

No.784 2011年5月9日

ARIBからのお知らせ

情報通信月間「電波の日記念講演会」開催のお知らせ

移動体通信の高度化と放送のデジタル化が進展するなど、電波利用システムは社会経済活動のみならず国民生活において不可欠なものとなっております。

通信分野では、最近のスマートフォンの目覚ましい普及とともに、携帯機器からインターネットへのアクセスの増加に対応して、3.9世代移動通信システムの商用化も開始されました。また、広帯域移動無線アクセスシステムの提供エリアも、着実に拡大されています。さらに、将来も見越した第4世代移動通信システムの無線インターフェイスは、2012年1月に開催される無線通信総会において、ITU-R 勧告としてとりまとめられる予定です。

放送分野では、本年7月24日の地上アナログ放送及びBSアナログ放送の停波に向けて、着実な取組みが行なわれています。

また、3月11日の東日本大震災においては、災害報道や、ネットワークを用いた情報の発信・共有・活用の重要性が再認識されました。

このような情勢を踏まえて、一般社団法人電波産業会では、総務省のご後援を得て、6月1日の電波の日を記念した情報通信月間参加行事として、「電波の日記念講演会」を下記のとおり開催いたします。講演会では、「電波利用の現状と今後の展望」をテーマにして、総務省、電気通信事業者、放送事業者及び無線機器製造業者の各分野から講師をお迎えして、それぞれのお立場でご講演をいただきます。

ぜひ、ご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。

記

- 1 日時 : 2011年6月9日(木) 13:10から16:00まで(開場12:40)
- 2 開催場所 : 明治記念館 富士の間 (<http://www.meijikinenkan.gr.jp/>)
東京都港区元赤坂 2-2-23 電話 : (03) 3403-1171
- 3 実施機関 : 主催 一般社団法人電波産業会
情報通信月間推進協議会
後援 総務省(予定)

4 講師

- (1) 総務省
総合通信基盤局 局長 桜井 俊 氏 (予定)
- (2) 電気通信事業者
イー・アクセス株式会社 代表取締役会長 千本 倅生 氏
- (3) 放送事業者
株式会社東京放送ホールディングス 常務取締役 衣笠 幸雄 氏
- (4) 無線機器製造業者
三菱電機株式会社 取締役会長 下村 節宏 氏

5 参加者 : 電波の利用者、電波に関連する産業界及び一般の方々 250名

6 参加費 : 無料 (事前登録制)

7 申込み先 : 当会Webサイト (<http://www.arib.or.jp/>) 「講演会等開催案内」から参加登録

8 問合せ先 : 一般社団法人電波産業会 企画国際部 栗田、芝山
電話 : (03) 5510-8592 E-mail : denpanohi2011@arib.or.jp

国際競争力強化のための標準化戦略に関するパネル討論会 ～ 日本を元気にする国際競争力強化戦略 ～ 開催のお知らせ

ICT 標準化・知財センター (ICT 分野の標準化に関連した当会を含む 8 つの機関により設立) は、震災の影響により延期させていただきました、「国際競争力強化のための標準化戦略に関するパネル討論会」を、2011年6月6日に開催いたします。

詳細については、ICT標準化・知財センターのWebサイト (<http://www.isipc.org/index.htm>) をご覧ください。

ARIBの動き

第 180 回技術委員会 (通信分野) を開催

第 180 回技術委員会 (通信分野) を開催しましたので、その概要をお知らせします。

- 1 日時 2011年4月27日 (水) 午後2時から3時10分まで
- 2 場所 当会第2会議室
- 3 主な議題
 - (1) 一般社団法人への移行についての説明
 - (2) 第79回規格会議の結果についての報告
 - (3) 平成22年度における照会相談業務の状況についての報告
 - (4) APT無線グループ第10回会合 (AWG-10) の結果についての報告
 - (5) ITU-R WP5D 第10回会合の主要結果についての報告

第 83 回電波利用懇話会を開催 ～ スマートグリッドと ZigBee をめぐる標準化動向について ～

4月25日(月)に、第83回電波利用懇話会を当会の会議室にて開催しました。

今回は、ZigBee Alliance LPR グループ副議長の佐藤様と一般社団法人 ZigBee SIG ジャパン常務理事の福永様のお二人を講師にお迎えし、「スマートグリッドと ZigBee*をめぐる標準化動向について」というテーマでご講演をいただき、約90名の会員の皆様方に受講していただきました。

講演では最初に、佐藤様からスマートグリッド（電力の流れを供給側・需要側の両方から制御し、最適化できる送電ネットワーク(NW)）の概要とその実現に向けた無線NW技術である ZigBee の概要及び標準化動向等について、次に、福永様からスマートグリッドの核となるスマートメータNWの概要とその無線利用が期待される920MHz帯に係わる法制度化動向等について、それぞれ図表のスライドを交え分かり易くご説明いただきました。

全体をとおして受講者の高い関心を集め、熱心に聴講していただき、また、活発な質疑応答が交わされました。

なお、講演のプレゼンテーション資料については、当会のWebサイト「お知らせ・お問合せの講演会等開催案内 (<http://www.arib.or.jp/osirase/seminar/index.html>)」において、ダウンロード公開しています。

*ZigBee は ZigBee Alliance の登録商標です。



第83回電波利用懇話会の様子と講師の佐藤様、福永様（左から）



デジタル放送システム開発部会
音声符号化方式作業班 主任 浦野 丈治

(日本テレビ放送網(株) 技術統括局技術戦略センター技術開発部 調査企画担当部長)

デジタル放送システム開発部会・音声符号化方式作業班は、日本におけるデジタル放送全般における音声符号化方式を所掌しています。

日本初のデジタル放送として 1996 年にサービス開始した狭帯域 CS デジタル放送（現スカパー！）では、音声符号化方式として MPEG-2 Audio が採用されていました。私はその前後に作業班主任を仰せつかったのですが、私の最初の大仕事は、次に控える BS デジタル放送の音声符号化方式をどうするかということでした。MPEG-2 Audio は当時最新の国際標準化方式ではありませんでしたが、一方で音質の限界が指摘されており、MPEG 会合において既に、次世代の音声符号化方式の検討が進んでいるとの情報をもとに、この次世代方式「MPEG-2 AAC (Advanced Audio Coding)」の採用を念頭に作業班での審議を進めました。審議においては机上検討に加えて音質評価実験を実施するなど検証を行い、最終的に BS デジタル放送の音声符号化方式として MPEG-2 AAC 方式を採用しました。

無論、規格化間もない技術方式を採用したため、方式ライセンス料の扱いが方式策定直前まで未確定で、また、技術検証環境の整備が十分でないなどの困難もありましたが、MPEG-2 AAC 方式採用に伴う音質向上・帯域有効活用のメリットは、それを十分に補えたと考えています。その後、MPEG-2 AAC 方式は地上デジタル放送をはじめとして、デジタル放送全体にメディア横断的に採用されています。

最近では、高度 BS デジタル放送の技術方式における 5.1ch を超える最大 22.2ch までの音響空間の規定や、ファイル型放送サービスにおけるロスレス音声符号化方式「MPEG-4 ALS (Audio Lossless Coding)」の採用など、進化し続ける音声符号化方式に対して、適宜対応を行っています。

編集後記

当企画国際部で流行っている？ウォーキングを、私も 3 月中旬に気候も良いことから、始めました。普段の運動不足解消を目的に、退社時、雨天を除き当会から渋谷駅まで約 6km の道程を 1 時間ほどかけて、歩いて帰宅しています。この効果を確かめるために、最低でも定期健康診断を受診予定の 5 月末までは、このウォーキングを継続したいと思っているのですが、このところの暑さと GW 休暇による中断で、早くも挫折の危機を向かえています。

(S.K)



Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS
発行所

一般社団法人 電波産業会

〒100-0013 東京都千代田区霞が関 1-4-1 日土地ビル11F
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103
<http://www.arib.or.jp> E-mail arib_news@arib.or.jp